

<ポイント版> ぎふ経済レポート（平成 29 年 9 月分）

【景況感】

景気は一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復している。

【製造業】一部で弱さも見られるが、全体としては持ち直しの動きが継続

○製造業は、一部の業種で鉱工業生産指数に弱含みがみられるものの、電気機械をはじめとして底堅い推移がみられるとともに、好調を示すヒアリングも多くみられることから、全体としては上向きの動きが継続している。

【地場産業】厳しい状況が継続しているが、一部に持ち直しの動きもみられる

○地場産業は、海外製品等との競合、国内需要の低迷、原材料費高騰による収益の圧迫など厳しい状況が継続しているが、輸出向けなど一部に持ち直しの動きも見られる。

【設備投資】投資意欲は減少しているものの、底堅く推移している

○設備投資は、設備投資意欲が 4 期ぶりに減少、「生産能力拡大・売上増」のニーズが低下したが、人手不足への対応とみられる「合理化・省力化」のニーズが高まり、国内の金属工作機械受注額は前年同月比で大幅に増加するなど、底堅く推移している。

【個人消費】消費は一部に弱さがみられるが、緩やかに回復している

○個人消費は、新車販売台数は前月に続き前年を下回ったが、軽自動車の販売台数は引き続き堅調な推移を見せ、現金給与総額や実質賃金についても改善の動きがみられるなど、明るい兆しが見えつつあり、緩やかな持ち直しの動きが継続している。

【観光】観光客数、宿泊客数ともに前年同月を上回っている

○観光は、1 ヶ月を通し天候に恵まれなかったが、テレビや映画等で話題になった施設への入込客数が多く、全体として観光客数、宿泊客数ともに前年同月を上回った。

【資金繰り】資金繰りは悪化傾向にあり、小規模企業には厳しい状況が継続

○企業の資金繰りは、借入難易感 D I は金融機関の積極的な融資姿勢から、借入しやすい状況が継続しているが、資金繰り D I は悪化傾向にあり、事故報告件数が 2 ヶ月連続で増加、倒産も前月並みに発生するなど、小規模企業にとっては厳しい状況が継続している。

【雇用】雇用情勢の改善とともに、人手不足感の拡大が継続している

○雇用面は、完全失業率、有効求人倍率、学生就職内定率等の関連指標は、良好に推移しており、総じて県内の雇用情勢は引き続き改善している。但し、大手志向の強まりや、求人と求職のミスマッチ等により、多くの中小企業では採用難に陥っており、人手不足が慢性化している。